

# 農業支援センター試験調査結果より

## ブロッコリー地域品種特性調査の取り組み結果について（続報）

農業支援センターでは、道が実施している北海道野菜ブランド品種導入推進事業に参画して、昨年度から2年間調査を行いました。今回2年間の結果を取りまとめましたので、概要についてお知らせします。

### 【調査方法】

作型は春播き（4月下旬）、初夏播き（6月下旬）の2作型で下記13品種を対象に実施しました。

ただし、1年目の結果から2年目調査は「春播き」では⑤、⑥、⑫を「初夏播き」では⑤、⑥、⑧の品種をそれぞれ当該作型では不向きとして除外しました。

### 【調査対象品種】

- ・標準品種：①「ピクセル」（サカタのタネ）、共同調査品種：②「サマーポイント」（住化農業資材）、③「ジェットドーム」（みかど協和）、検定品種・系統：④「SK9-099」（サカタのタネ）、⑤「BNT-107」（ナント種苗）、⑥「YQQ733」⑦「YQQ843」⑧「YQQ951」（住化農業資材）、⑨「スピードドーム052」⑩「B1401」⑪「B1414」（みかど協和）、⑫「R2-004」（トキタ種苗）、⑬「スターラウンド」（ホクレン）

また今年、これら対象品種の他に独自に以下の参考品種も調査しました。

### 【参考品種】

- ・バーニー、ラッキー、バタビア（以上Bejo.japan）、おはよう（サカタのタネ）、すばる（プロリード）

### 【結果の概要】

下図に2年4作の合計規格内収量を示しました。このうち1年目に各作型で不向きとされた品種は除外しています。

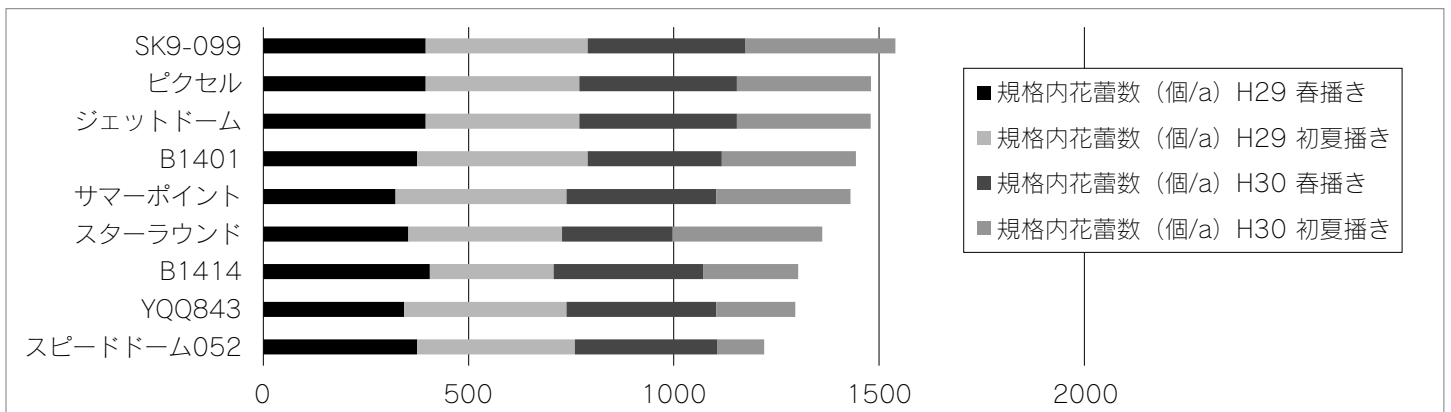


図1 規格内累積花蕾数（2年4作：個/a）

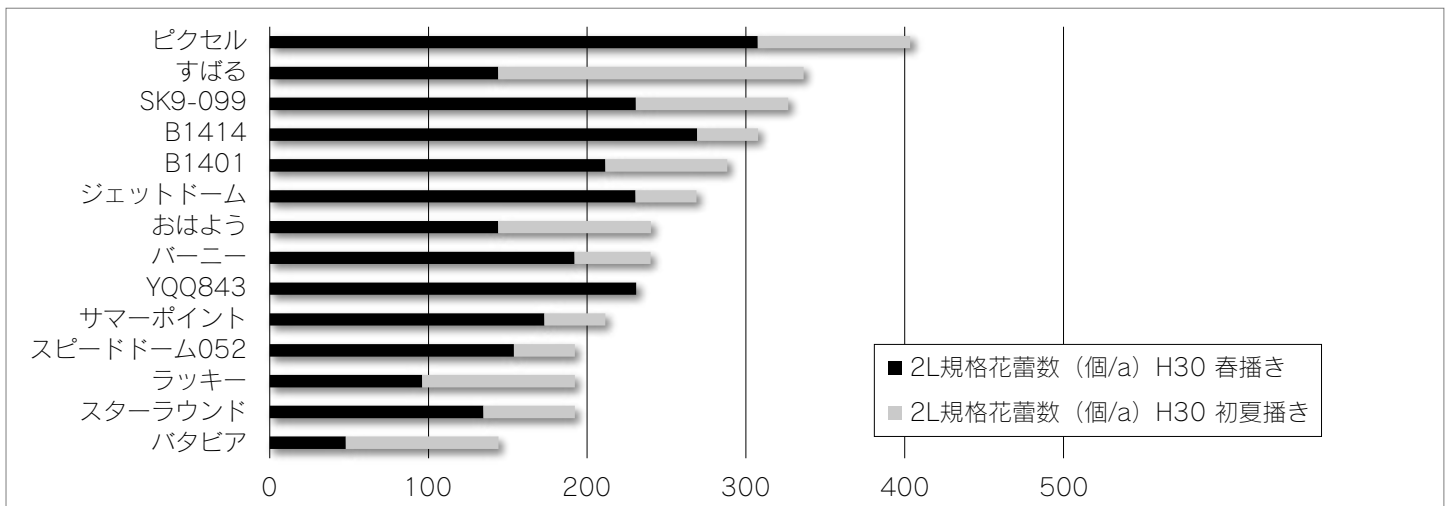


図2 2L規格花蕾数（個/a）